

NEDO*が推進する「超高压水素インフラ本格普及技術研究開発事業」において、福島県浪江町に整備していた「福島水素充填技術研究センター」が、2022年12月、本格的に運用を開始しました。同センターでは、燃料電池を搭載した大型・商用モビリティへの大流量水素充填技術や大流量水素計量技術に関する技術開発・検証を行っています。

東京計器パワーシステムは業務提携するサニー・トレーディング株式会社を通じて、同センターに油圧駆動式高压水素圧縮装置を提供しています。

水素燃料は搭載容量を増やして長時間の稼働ができるよう高压で充填されます。

油圧式の水素圧縮装置は大容量の水素を効率よく供給するのに適しており、

東京計器パワーシステムでは油空圧制御技術を駆使して、

超高压水素を安全・確実に制御する油圧駆動式高压水素圧縮装置を開発、納入してまいりました。

これらはガソリンスタンドと同様の「定置式水素ステーション」やトレーラーで移動できる「移動式水素ステーション」の双方にご採用いただいています。

東京計器グループは、水素・エネルギー事業を通じて

カーボンニュートラル実現を始めとする環境課題の解決に取り組んでまいります。



※新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)ニュースリリース(2022年12月12日)を基に作成

